

## PRESS RELEASE

2012年9月20日  
株式会社三菱総合研究所

## 日銀短観（2012年9月調査）予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）では、10月1日（月）に日本銀行より発表される予定の「企業短期経済観測調査（日銀短観）2012年9月調査」の業況判断DIについて予測を行った。

大企業・全産業の業況判断DI	—————	+1%ポイント（6月調査比 ▲2%ポイント）
同・製造業の業況判断DI	—————	▲4%ポイント（6月調査比 ▲3%ポイント）
同・非製造業の業況判断DI	—————	+6%ポイント（6月調査比 ▲2%ポイント）

業況判断DI（大企業・全産業）は、中国経済の減速感が強まるとともに、日本経済を下支えしてきた内需にも息切れ感が見られ始めているなか、前回調査から▲2%ポイントの悪化を予想する。

製造業では、欧州経済の悪化に加え、中国をはじめとするアジア経済にも景気減速が拡がり、供給過剰感が強まる鉄鋼や化学などの素材業種を中心に業況の悪化が見込まれる。円高の定着や原油価格の上昇による収益悪化の影響も大きい。業況判断DI（大企業）は前回調査比で▲3%ポイントの悪化を予想する。

非製造業では、東北地方を中心に復興需要が顕現化してきているものの、景気を下支えしてきた個人消費に息切れ感が見られ始めているほか、特例公債法案の未成立による予算執行の抑制も景況感の悪化につながる。業況判断DI（大企業）は、前回調査比で▲2%ポイントの悪化を見込む。

先行きについては、復興需要の本格化に加え、年末頃から新興国経済が持ち直しの動きを見せ、外需が緩やかに回復していくことが期待されるが、現時点ではまだ不確実性が高く、また領土問題の経済活動への影響も懸念材料である。先行きの業況判断DI（大企業）は、製造業が▲2%ポイントの悪化、非製造業は横ばいを予想する。

## 日銀短観（9月調査）業況判断DI 予測結果

「良い」-「悪い」 単位：%ポイント		実績		予測	
		2012年 3月	2012年 6月	2012年 9月	2012年 12月
		3月調査 「直近」	6月調査 「直近」	9月調査 「直近」	9月調査 「先行き」
大企業	全産業	0	3	1	0
	製造業	▲4	▲1	▲4	▲6
	非製造業	5	8	6	6
中堅企業	全産業	▲3	0	▲3	▲6
	製造業	▲7	▲6	▲10	▲13
	非製造業	▲1	3	0	▲3
中小企業	全産業	▲10	▲10	▲14	▲18
	製造業	▲10	▲12	▲17	▲22
	非製造業	▲11	▲9	▲12	▲16

注1：シャド一部分が9月調査の予測値。

注2：「先行き」は、調査時点から3か月後を表す。

資料：実績は日本銀行「企業短期経済観測調査」、予測は三菱総合研究所。

《本件に関するお問合せ先》

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号  
 政策・経済研究センター 森重彰浩 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：morisige@mri.co.jp  
 広報・IR部 笠田・武居 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp  
 尚、本資料は、内閣府記者クラブ、金融記者クラブに配布致します。